

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- 運動の特性に応じた技能を理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
- 個人生活における健康・安全について理解する。
- 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え、判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 男女共習年間学習計画と単元(題材)

学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標(ねらい)
1 学 期	4	・体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・目的に適した運動を身に付ける。 ・仲間と自主的に関わる。
	5	・陸上競技① ・運動会練習 ・陸上競技②	・短距離走・リレー ・種目の練習 ・幅跳び	・基本技能を身に付ける。 ・協力しながら練習に取り組む。 ・種目のルールややり方を理解する。
	6	・器械運動① ・新体カテスト	・マット運動 ・新体カテスト計測	・技ができる楽しさや喜びを味わい その技ができるようにする。 ・測定の方法や測定する体力を覚える。
2 学 期	7	・体育理論	・運動やスポーツの 意義や効果 他	・運動やスポーツの意義や効果と安全な 行い方を理解する。
	9	・水泳	・クロール、平泳ぎ、 背泳ぎ	・各泳法を身に付け、楽しさや喜び を味わう。 ・長時間続けて泳ぐ能力を身に付ける。
3 学 期	10	・傷害の防止①	・傷害の発生要因 他	・交通事故や自然災害などによる傷 害を防止して安全に楽しい中学校 生活を送れるようにする。
	11	・球技① 「ベースボール型」	・ソフトボール	・基本技能を身に付ける。ゲームを 展開できるようにする。
		・球技② 「ネット型」	・バレーボール	・基本技能を身に付ける。ゲームを 展開できるようにする。
	12	・武道 「柔道」 ・ダンス	・受け身、固め技 ・投げ技 ・現代的リズムのダン ス	・技ができる楽しさや喜びを味わう ・基本技能を身に付ける。 ・みんなで踊ることの楽しさを味わ う。 ・表現を通じた交流ができる。
	1	・陸上競技③	・長距離走	・自分の能力に適した課題をつかみ 技能を高め、記録を高めることが できる。
2	・球技③ 「ゴール型」	・サッカー	・基本技能を身に付ける。ゲームを 展開できるようにする。	
3	・傷害の防止② ・健康と環境	・応急手当の意義と実 際 ・生活習慣病などの予 防 他	・健康な生活と疾病の予防について 理解する。	

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 各領域における「運動の特性や成り立ち」、「技術（技）の名称や行い方」、「関連して高まる体力」、「伝統的な考え方」、「表現の仕方」などの知識習得、理解ができています。 各領域の基本的な技能や動きを身に付け、記録や技に挑戦し、簡易な試合や発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 学習ノート・学習カード 定期テスト 小テスト レポート 記録測定 技能テスト 観察
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた解決ができる 自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え、判断するとともに、他者に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 学習ノート、学習カード 技能テスト、小テスト レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 各領域に自ら進んで取り組める。 公正に取り組むことができる。 ルールマナーを大切にしようとしている。 お互いに協力できている。 自分の役割を果たすことができている。 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出欠席状況 観察、授業態度、発言等 小テスト 学習ノート、カードなど提出物

4 授業の取組についてのアドバイス

- 欠席、見学をしないようにする。
- 授業に必要なものを忘れない。（体育着、教科書、保健体育ノートなど）
- 意欲的に授業に参加する。（何事にも積極的にチャレンジする。記録向上を目指して努力する。協力して活動する。準備や片付けに積極的に取り組むなど）
- 学習カードに具体的に授業でできたこと、課題、次回の取組を記入し提出する。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- 健康管理に気を付け、欠席のないようにする。
- その日のうちに学習の振り返り（復習）を行う。
- ランニングや筋カトレーニング、ストレッチなど日頃から基礎トレーニングを行う。

6 定期テスト前の取組についてのアドバイス

- 授業で配布されたプリントを活用する。
- 教科書、実技教科書（ステップアップ）、ワークなどを活用する。
- 授業での先生の話を中心して聞く。
- 疑問があれば先生に質問する。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- 何事にも失敗を恐れずに積極的にチャレンジする。
- 授業の取組についてのアドバイスをよく聞き、実践する。
- 記録向上を目指し、繰り返し地道に努力する。
- 提出物を期日までに提出する。